

並行在来線 沿線を巡る

今回は、スキー・スノーボードなどのウインターレジャーで賑わう妙高高原駅とその周辺を紹介します。

妙高高原駅の紹介

妙高高原駅は、明治21年(1888年)官設鉄道・関山～長野間開業の際に開設され、当時の駅名は田口(たぐち)駅でした。その後、上信越高原国立公園に広がる観光エリアの最寄駅であるということから、昭和44年(1969年)に妙高高原駅に改称しました。

信越本線では新潟県側最南端の駅であり、平成23年度における一日平均の乗車人員は358人です。(出典:JR東日本ホームページ)

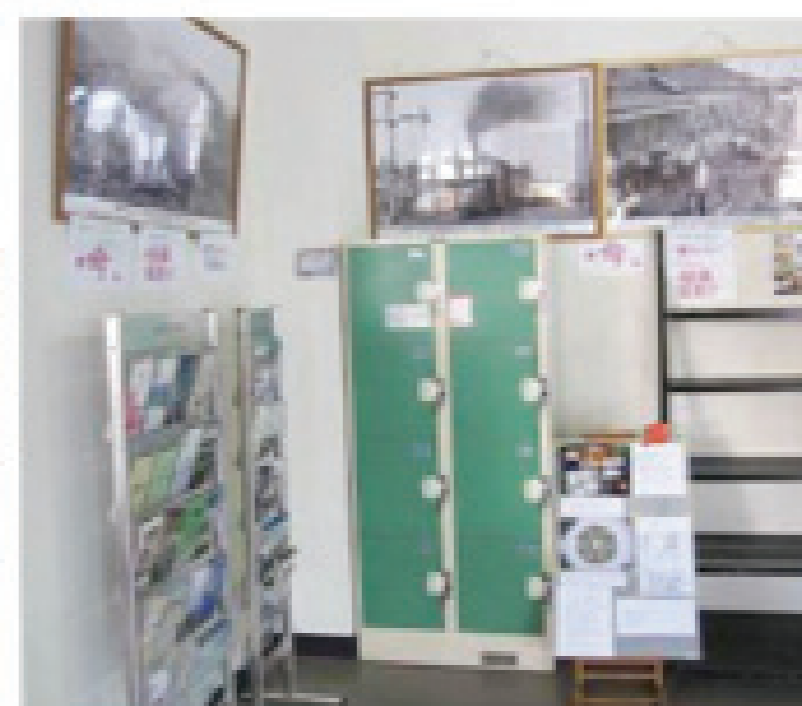
駅を降りると、その駅名のとおり、大きく雄々とした妙高山が眼前にそびえ、まさに、越後富士と称される雄大な山であることを実感することができます。

妙高高原は、江戸時代の文化11年(1816年)に赤倉温泉が開湯され、昭和25年には、当時の運輸省認定の日本第一号の公認リフトが建設されるなど、歴史深いリゾート地です。

妙高高原地域には、妙高山を一望し、この地域を代表する風景を眺めることができる「いもり池」のほか、「笹ヶ峰高原」や



▲妙高高原駅



▲妙高高原駅構内のPRブース

「苗名滝」などの景勝地が多くあります。

また、妙高高原温泉郷の7つの温泉のうち、5つの温泉(赤倉、池の平、新赤倉、杉野沢、妙高)があり、さまざまな泉質を楽しむことができます。

冬は妙高山の裾野に広がるスキーエリアが有名で、週末には各スキー場で楽しいイベントも多数開催されています。

妙高高原商工会田口支部では、妙高高原の魅力を発信するため、駅構内にPRブースを設置し、妙高高原のフラワーリースや、旧田口駅時代のSLの写真などを展示しています。

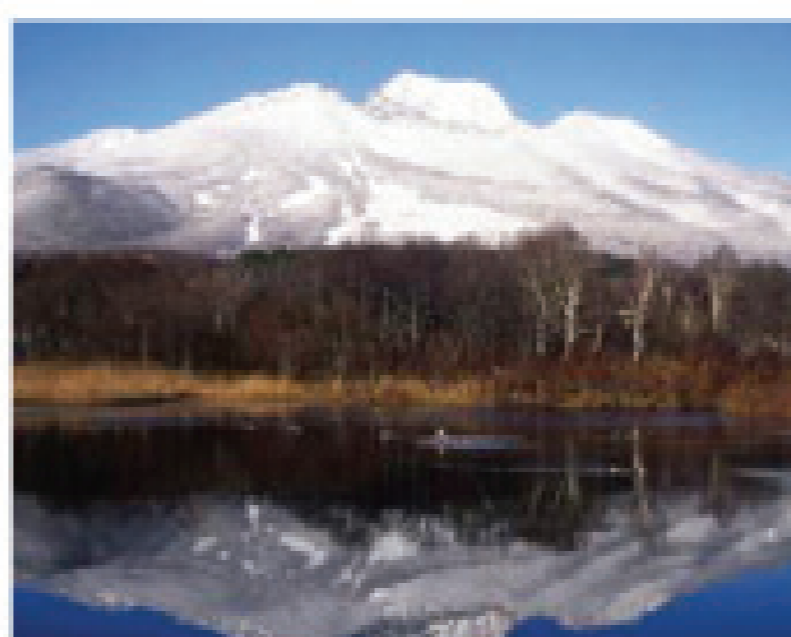
駅からは、路線バスや観光周遊バスなどで観光地を巡ることができますので、鉄道を利用して来訪した方でも安心して観光を楽しむことができます。

周辺のみどころ

いもり池

イモリが多く棲んでいたことが名前の由来といういもり池。妙高山の美しい姿を水面に映す様子は、四季を通じて、訪れる人々を魅了します。

- 交通 妙高高原駅からバスで約10分、または徒歩50分

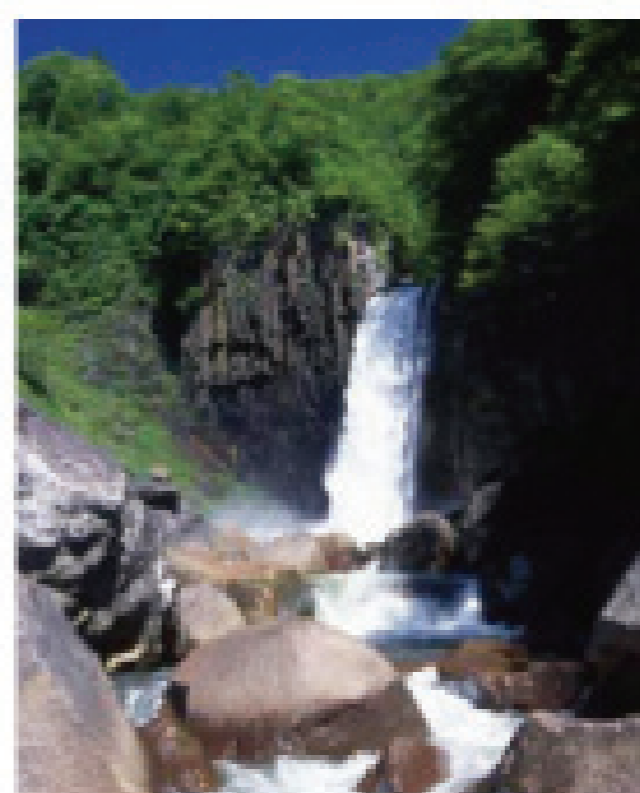


▲水面に映る妙高山
妙高を代表する風景

苗名滝

妙高山の雪解け水がしぶきを上げて滝つぼに落ち込む様子は迫力満点です。豪快な滝を見れば雄大な自然の力を感じることができます。

- 交通 妙高高原駅からバスで約15分+徒歩20分

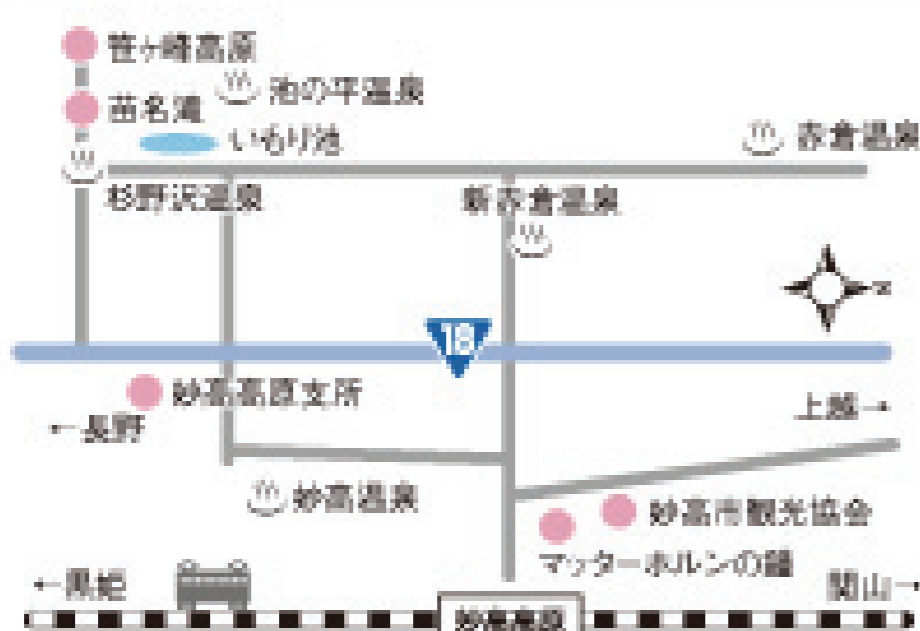


◀日本の滝百選
落差55mの名瀑

今冬のおススメ

地元ガイドの案内で、いもり池周辺などの大自然に触れよう!

- 妙高自然ソムリエガイドによる冬トレッキング
ご予約・お問い合わせ先 妙高市観光協会 Tel.0255-86-3911
- 雪上自然観察会(2月中旬～3月中旬)
お問い合わせ先 妙高高原ビジターセンター Tel.0255-86-4599
- スノーシューナイトツアー「月の旅・星の旅」(1月上旬～4月上旬)
お問い合わせ先 池の平温泉観光協会 Tel.0255-86-2871



笹ヶ峰高原

笹ヶ峰高原は標高1,300mで梅雨がありません。初夏にはキンボウゲの黄色い花々が揺れ、爽やかな高原が広がります。平成の名水百選「宇棚の清水」や火打山登山口、乙見湖などのほか、森林セラピーロードもあります。

- 交通 妙高高原駅からバスで約50分(夏季のみ)



▲高原の花々が咲く
標高1,300mの高原

えちごトキめき鉄道のマスコットキャラクターが、どのキャラクターに決定されるか楽しみですね。今後も、並行在来線に関する情報をお知らせしていきます。皆様から、ご意見・ご感想をお待ちしています。